

三鷹市福祉Laboどんぐり山プロジェクト 事業イメージ

在宅医療・介護の推進

三鷹市の高齢者福祉向上のために企業や大学との協働により進める「3つの柱」から成るプロジェクト

研究・サービス開発

三鷹市在宅医療・介護研究センター

- 企業や大学等との協働による研究プロジェクトの実施
- 先進的な研究成果や技術を地域や介護事業者に実装するためのサポート

最新技術を活用できる人財の育成

介護事業者が持つ課題の解決に向けた研究

人財育成

三鷹市介護人財育成センター

- 介護人財不足の解消とこれからの高齢社会に求められる人財を育成するための各種研修
- 介護を行う市民向け研修等による介護人財のすそ野拡大や市内介護事業者の支援

新たな技術や研究の実証フィールド

最新技術の活用など質の高い研修の実習

最新の技術を活用した在宅生活の継続

優れた介護人財の支援により在宅生活を継続

実践・実証/在宅生活支援サービス

三鷹市生活リハビリセンター

- 研究センターや人財育成センターの実践・実証の場
- 在宅生活の継続を支援するため、施設や病院から在宅復帰する高齢者等の支援を行う介護保険外の独自サービスを提供。同居家族も宿泊してトレーニングを行うことができる。

地域への実装に向けて産学の技術や知識を福祉Laboに集約

福祉Laboから技術や知識を地域に還元

企業・大学等

技術や知識を実践・実証するフィールドとして福祉Laboを活用

市民・市内事業者

福祉Laboの事業に参画し、地域の課題を共有

3つの事業が有機的に連携し得られる成果

各事業の特性を生かした地域課題へのアプローチ

“福祉Laboどんぐり山発”研究成果の地域実装

業種や職種を超えた高齢者福祉の連携拠点

